

日時

11/4

SUN

15:00 ~ 17:00

場所

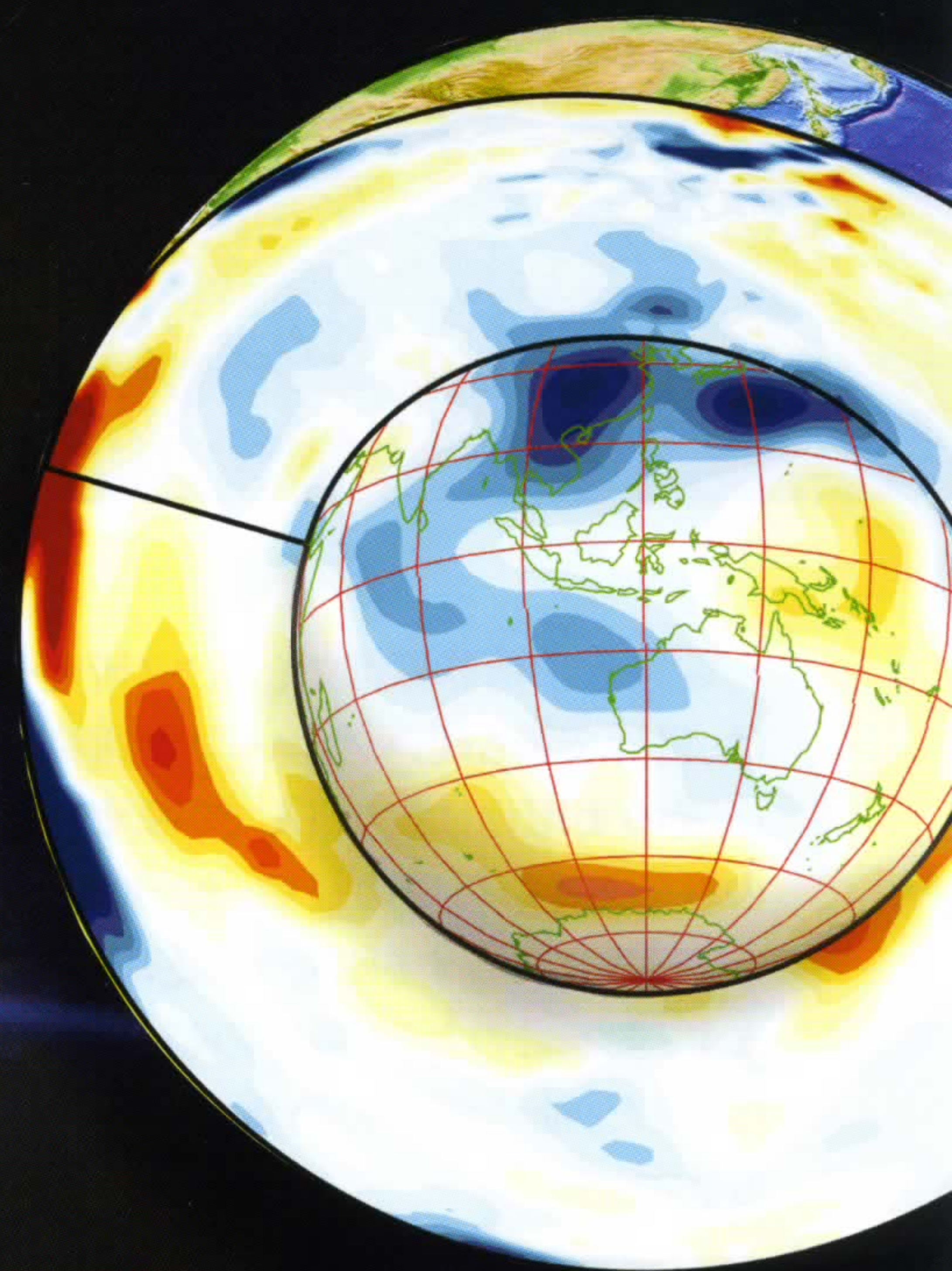
愛媛大学グリーンホール

参加費無料

「日本沈没と沈み込んだプレートの行方」

深尾 良夫

(海洋研究開発機構・地球内部変動研究センター長)



「地底を覗く」現代地球科学と地球内部の

構造・物質・運動」

「ヒメダイヤの合成と地球内部の物質」

入船 徹男

(愛媛大学・地球深部ダイナミクス研究センター長)

「学術創成研究」は日本学術振興会による、また「特定領域研究」は文部科学省による大型の科学研究費です。愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センターに5年間措置された学術創成研究（「放射光と超高压技術による地球深部物質の探査」）が最終年度を迎えるにあたり、また全国的な規模で組織されている特定領域研究（「スタグナントスラブ:マントルダイナミクスの新展開」）の全国研究集会が松山で開催されるのに際し、それぞれの研究代表者である2名の講演者に、我々の住んでいる地球の深部がどのような世界であるのかを、最新地球科学の情報に基づいてお話しいたします。

愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター(GRC)では、世界で最も硬いダイヤモンド(通称「ヒメダイヤ」)を開発し、その実用化に取り組んでいます。講演ではヒメダイヤの性質とその開発の経緯、また地球深部のより高い圧力を実験室に再現する研究への応用などについてお話します。また、このような最近の超高压実験により明らかになってきた、地球深部の物質やその特徴についてもお話する予定です。

海溝付近に発生する巨大地震は、海洋プレートの沈み込みがときに劇的なスピードで起こることを示しています。でもプレートのこのような急速な動きはたかだか数分しか続かず、「日本沈没」のようなことは現実には起きません。地球の中でプレートの沈み込みに伴って実際には何が起きているのでしょうか?日本では今、沈み込んだプレートの行方を追跡しその振る舞いを理解しようとするプロジェクトが進行中です。本講演ではこのプロジェクトの最新の成果を踏まえて地球深部の謎に迫ります。

入船 徹男



愛媛大学・
地球深部ダイナミクス研究センター長

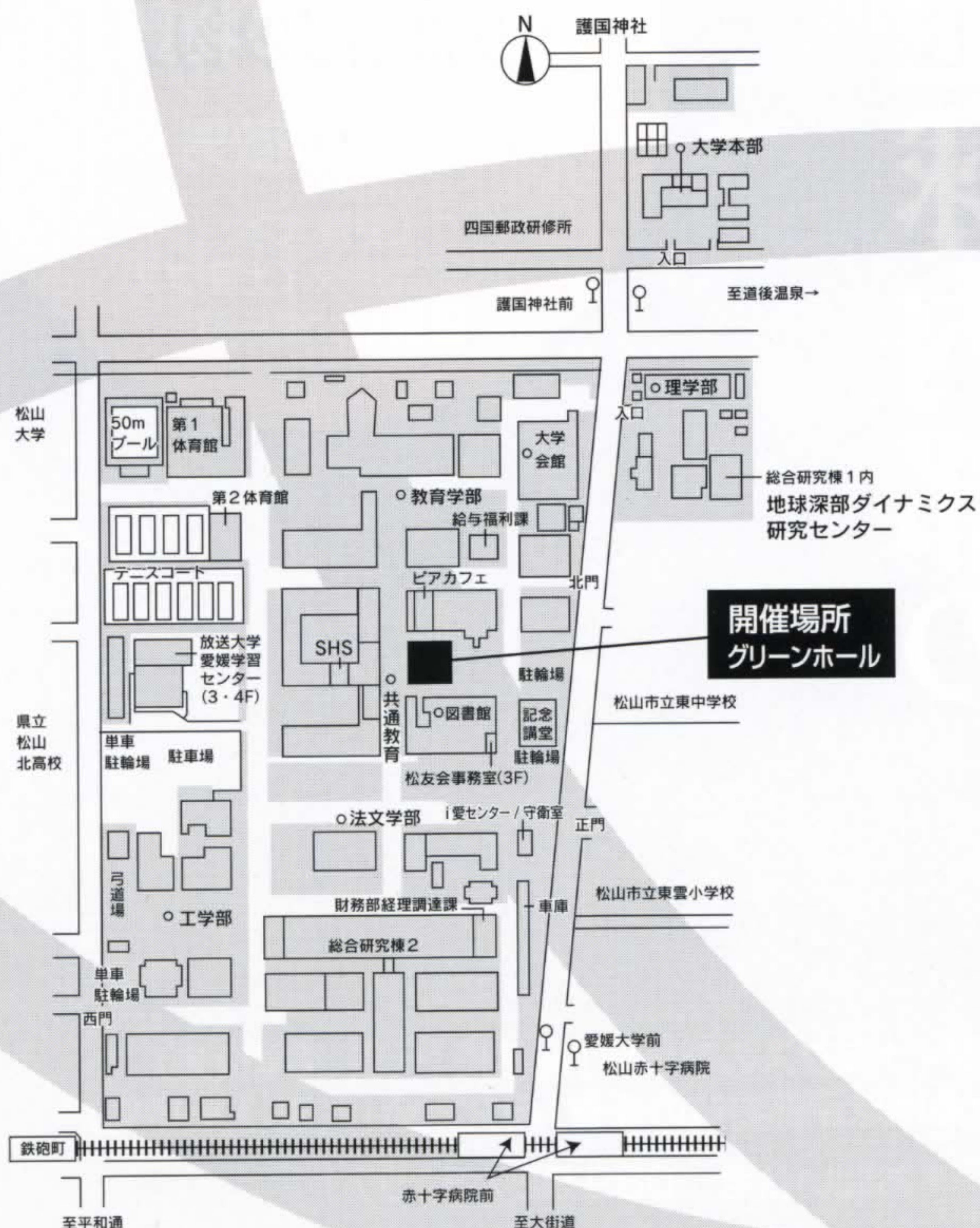
深尾 良夫



海洋研究開発機構・
地球内部変動研究センター長

昭和29年三重県出身 京都大学理学部卒業
オーストラリア国立大学研究員、北海道大学理学部助手、
愛媛大学理学部助教授・教授等を経て、現職
著書「地球内部の構造と運動」(東海大学出版)、「ダイヤモンド号で行く地底旅行」(新日本出版)など
日本鉱物学会賞、石川カーボン賞、フンボルト賞など受賞
専門は超高压地球科学

昭和18年東京都出身 東京大学理学部卒業
名古屋大学助教授、東京大学地震研究所教授・所長等を経て、
現職
著書「地震・プレート・海と陸 - 地学入門」(岩波書店)、「阪神・淡路大震災と地震の予測」(岩波書店)など
恩賜賞・日本学士院賞など受賞
専門は地震学



主催／文部科学省特定領域研究「スタグナントスラブ:マントルダイナミクスの新展開」総括班(代表:深尾良夫)

日本学術振興会学術創成研究「放射光と超高压技術による地球深部物質の探査」研究組織(代表:入船徹男)

共催／愛媛大学・愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター

お問い合わせ:愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター

TEL 089-927-8197